原子力災害対策本部 本部長 内閣総理大臣 菅 直人 様

日本生活協同組合連合会 会長 山下 俊史

## 東京電力福島第一原子力発電所事故にともなう放射性物質による 健康リスクへの対応に関する要請

東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生し、3か月が経過しようとしています。 この原子力災害に対する国民の不安はいまだに大きいものがあります。

事故の影響は、時間の経過とともに様々な広がりを見せ、不安の内容も少しずつ変わってきています。不安が軽減しない根底には、政府・東京電力の対応に混乱が見られたこと、また政府の総合的な方針・戦略が見えないことから、国民が行政に対して、大きな不信を抱いているためと考えられます。放射性物質による汚染の問題は、きわめて専門的で理解が難しいこともあり、国民はどの情報を選択し、どのように理解すればよいのか、たいへんわかりづらい状況です。そこで、弊会はあらためて、標記問題に関して、以下を要請いたします。

1. 原発事故により発生した諸問題に対し、国民の命と健康の保護を優先する姿勢を明確に示してください。

国内の原子力発電所の事故により、多量の放射性物質が広範囲に放出されるという今までにない事態に、多くの国民が不安を感じ続けています。現状では、私たち国民は、この問題に対して政府が何をめざしどのように対応しようとしているのかという全体の方向性が見えません。インターネットを初めとして多様な情報が存在する一方で、政府からのメッセージの発信が不足していることから、行政の姿勢に不信を持つ人も少なくありません。

政府は、国民の命と健康の保護を優先する姿勢を明確に示してください。

2. 国民の被ばく量を減らすための総合的な方針を策定し、一貫性のある施策を行ってください。それを国民にわかりやすく示してください。

放射線被ばくは、合理的に達成しうる限り低くおさえることが重要です。現在、 関係省庁が、おのおの被ばく量を下げるための線量コントロールに関する施策を行っ ており、各省庁のホームページには詳細なデータが添付されています。しかし、それ らのもつ意味を国民が理解することは、大変困難です。

政府は、国民の被ばく量を減らすための総合的な方針を省庁横断的に策定し、そ

れがどこまで進んでいるのかを国民にわかりやすく示してください。放射線や放射性物質のモニタリング検査のデータ収集や活用についても見直し、強化を行ってください。その上で、どの省庁がどの施策を責任を持って実行するのか、整理を行ってください。国民への伝え方については、たとえば、全体方針や各省庁が担当する施策とともに、各地の放射線量や水道水・食品の検査データの推移を簡潔にまとめたレポートを定期的に国民に示す等の方法があると考えられます。そうした上で、状況に応じた施策の見直しを行ってください。

- 3. 国民は、放射線被ばくに対して、大きな精神的苦痛を感じています。国民の不安を理解した上で、丁寧なコミュニケーションを行ってください。
- (1) 総合的なリスクコミュニケーションの計画を立てること

放射性物質に対する国民の不安は一向に払拭されていない状況にあります。政府が有効な施策を行ったとしても、その意味や内容が国民に十分伝わらなければ、不安を減らすことはできません。政府はリスクコミュニケーションの専門家のアドバイスを受けて、放射性物質およびそれに対して政府や地方自治体が行う施策に関するリスクコミュニケーション戦略を作り、的確に対応するよう要望します。

(2) 地域や年齢層に応じたきめ細かい情報提供を行うこと

居住地、年齢、生活のスタイル等、個人の置かれている状況はさまざまであり、不 安の内容や知りたい情報も異なると思われます。

生協が福島県で行った学習会では、「窓を開けても良いか」「庭の芝生で孫が遊ぶが、芝生を剥ぎ取った方が良いか」「家庭菜園の野菜は大丈夫か」「少しでも被ばくを減らしたいが、できることはもうないか」など、生活に密着したくらしの疑問や不安が多数寄せられました。国民ひとりひとりが、自分の置かれている状況を正確に把握し、これからは何に気をつければいいのかが判断できるように、地域や年齢層に応じたきめ細かな情報提供を要望します。個人で行えるリスク回避行動(掃除、マスク着用、井戸水の使用の適否など)やその効果についても合わせて提示してください。

## (3) リスクコミュニケーションの改善を行うこと

住民説明会等の場では、行政側が行うリスク低減の方針・施策を伝えるだけでなく、 住民が知りたいことに応えることが重要です。そのためには、十分質問したり意見を 出したりできる場の設計が必要です。すでに福島県内では住民説明会が行われていま すが、その説明会を振り返り、よりよい説明会になるよう改善をおこなってください。